

ボクシング



りょうて あいて じょうはんしん う あ しょうはい きそ きょうぎ
両手にグローブをつけ、相手の上半身を打ち合って勝敗を競う競技です。

日程・会場 ● 9月29日（月）～10月3日（金）
東近江市能登川アリーナ

プログラム詳細は
p. 3～ 参照！

一般観覧 (可) 事前予約不要／入場無料／入場整理券なし

インターネット **LIVE配信・見逃し配信** も無料！（主に決勝戦）

試合（ラウンド）中の太鼓や楽器等の鳴り物を用いての応援やフラッシュ撮影は御遠慮ください。

競技紹介

- 国スポでは体重別に、成年男子がライトフライ級からライトヘビー級の8階級、女子はフライ級のみ、少年男子がピン級からミドル級の8階級で、トーナメント方式により行われます。
- 採点はリングサイドの5名のジャッジにより行われ、勝敗はポイント勝ちやノックアウト勝ち(KO)などにより決まります。

競技のルールや見どころは **p. 4～** 参照！



滋賀県選手団

no	競技	種別	種目	役職	氏名	勤務先・学校名・所属等	学年等	現住所
1	ボクシング	成年男子	全階級	監督	狩野 光彦	カノ測量設計		大津市
2	ボクシング	成年男子	ライトフライ級	選手	西原 叶希	芦屋大学	3年	兵庫県芦屋市
3	ボクシング	成年男子	バンタム級	選手	西原 柊史	公益財団法人滋賀県スポーツ協会		長浜市
4	ボクシング	成年男子	ウェルター級	選手	四宮 幸太	公益財団法人滋賀県スポーツ協会		大津市
5	ボクシング	成年男子	ミドル級	選手	墨 亮多	滋賀県立能登川高等学校	教員	東近江市
6	ボクシング	成年男子	ライトヘビー級	選手	中島 鉄人	公益財団法人滋賀県スポーツ協会		大津市
7	ボクシング	少年男子	全階級	監督	藤田 貴弘	リコージャパン株式会社		彦根市
8	ボクシング	少年男子	ライトフライ級	選手	杉本 理空	滋賀県立能登川高等学校	3年	彦根市
9	ボクシング	少年男子	フライ級	選手	小林 慶兜	滋賀県立能登川高等学校	3年	東近江市
10	ボクシング	少年男子	バンタム級	選手	山本 彪牙	滋賀県立能登川高等学校	3年	東近江市
11	ボクシング	少年男子	ライト級	選手	渡邊 力哉	滋賀県立北大津高等学校	3年	大津市
12	ボクシング	少年男子	ライトウェルター級	選手	須田 健心	クラーク記念国際高等学校	2年	犬上郡豊郷町
13	ボクシング	女子	全階級	監督	植田 岳士	株式会社ワイケイエス		大津市
14	ボクシング	女子	フライ級	選手	井本 愛美	公益財団法人滋賀県スポーツ協会		大津市

見どころ

- 拳のスピードは一瞬、反応はわずかコンマ数秒！パワーあふれる打ち合いの中でも、相手の動きを読む駆け引きや、的確なディフェンス技術が勝負を分けます。鍛え抜かれた肉体と冷静な頭脳がぶつかり合う迫力の試合に注目です。

● <滋賀県選手団>

2025年8月に台湾で開催された「台北市杯招待トーナメント」の80キロ級で準優勝した**中島鉄人**選手が出場します！今回の国スポでは、成年男子・ライトヘビー級で優勝を目指します！

● <滋賀県選手団>

滋賀県の高校には、1校しかボクシング部がありません…。その1校である能登川高校からは4名が出場！なんと能登川高校の教員である**墨亮多**さんも選手として出場されます！

滋賀県広報課の注目ポイント👁

- 競技としての見どころのほか、10月1日（水）には、元WBC世界バンダム級チャンピオンの山中慎介氏によるトークイベントやシャドーボクシング・ミット打ち披露が実施されます！

競技日程

9月28日(日)

監 督 会 議	13時00分～	東近江市埋蔵文化財センター
開 始 式	14時00分～	東近江市能登川アリーナ

9月29日(月)～10月3日(金)

月日 会場	9月29日(月)	9月30日(火)	10月1日(水)	10月2日(木)	10月3日(金)
東近江市立能登川 博物館	7:30～ 受付 健診・計量	7:30～ 受付 健診・計量	7:30～ 受付 健診・計量	7:30～ 受付 健診・計量	7:30～ 受付 健診・計量
東近江市能登川 アリーナ	10:30～ 女子 1回戦 女子終了後 少年男子 1回戦 少年男子終了後 成年男子 1回戦	10:30～ 少年男子 1回戦 2回戦 少年男子終了後 成年男子 1回戦 2回戦	10:30～ 女子 準々決勝 1階級 (4競技) 女子終了後 少年男子 準々決勝 8階級 (32競技) 少年男子終了後 成年男子 準々決勝 8階級 (32競技)	10:30～ 女子 準決勝 1階級 (2競技) 女子終了後 少年男子 準決勝 8階級 (16競技) 少年男子終了後 成年男子 準決勝 8階級 (16競技)	10:30～ 女子 決勝 1階級 (1競技) 女子終了後 少年男子 決勝 8階級 (8競技) 少年男子終了後 成年男子 決勝 8階級 (8競技)

※ 健診・計量は女子、少年男子、成年男子の順で行う

表 彰 式	10月3日(金) 競技終了後	東近江市能登川アリーナ
-------	----------------	-------------

ボクシング競技の見方

ボクシングは、古代オリンピックの種目として行われていた、古い歴史を持つスポーツです。当時すでに成年と少年の2つの部に分けられていました。

近代ボクシングは18世紀にイギリスで始まりました。その後、ヨーロッパやアメリカ大陸の各地に伝わります。わが国では1921年に東京で始まりました。

ボクシング競技は、手にグローブをつけ相手と打ち合います。しかし、激しさや力強さや逞しさだけが優先するスポーツではありません。正しい練習をすれば誰にでもできるスポーツです。古くからボクシングは、スピードとタイミングの芸術であり、ボクサーはリングの賢者と呼ばれてきました。

ボクシングの技術的基礎は、攻撃と防御のバランスで成り立っています。

競技中は、自己の感情を理性でコントロールする強い意志と決断が必要です。がむしゃらで感情的な動きは、冷静な勇気と技術には通用しません。ピンチに際しては自己統制力、高度の精神集中で耐え抜き、反撃に移ります。アマチュアボクシングは力より機敏な技を、激高することではなく冷静な判断力を学びます。

競技終了後は、互いに技術と健闘精神を褒め称え合います。そこでスポーツマンシップが向上し、深い友情で結ばれていきます。青少年の身体の成長に有意義なスポーツです。

1. ボクシングは同じ階級の選手同士が競技する合理的なスポーツで、第79回国民スポーツ大会では次の階級で競技が行われる。

	階 級	体 重		少年 男子	女子	成年 男子	グローブ		
		上段：少年男子・成年男子 下段：女子					女 子	少年男子 成年男子	
1	ピン(P)級	44kg超過 43kg超過	46kgまで 45kgまで	○			10 オンス		
2	ライトフライ(LF)級	46kg超過 45kg超過	49kgまで 48kgまで	○		○			
3	フライ(F)級	49kg超過 48kg超過	52kgまで 51kgまで	○	○	○			
4	バンタム(B)級	52kg超過 51kg超過	56kgまで 54kgまで	○		○			
5	フェザー(F e)級	—							10 オンス
6	ライト(L)級	56kg超過 57kg超過	60kgまで 60kgまで	○		○			
7	ライトウェルター(LW)級	60kg超過	64kgまで	○		○			
8	ウェルター(W)級	64kg超過	69kgまで	○		○			
9	ミドル(M)級	69kg超過	75kgまで	○		○			
10	ライトヘビー(LH)級	75kg超過	81kgまで			○			12 オンス

2. ラウンド

成年（シニア）男子および女子は3分3ラウンド、少年（ジュニア）男子は2分3ラウンドで競技が行われる。ラウンドの間には1分のインターバル（休憩）がある。

3. グローブ・ヘッドガード

競技者は赤または青の自分のコーナー色のグローブおよびヘッドガードを使用する。成年（シニア）男子はヘッドガードを着用しない。ともに公益社団法人日本ボクシング連盟（以下、「日連」）の検定を受けたものを使用する。

4. 服装

競技者はスパイクのない踵の低い柔軟なシューズを履き、膝にかからない長さのトラックスと胸と背中を覆うランニングシャツを着用する。グローブの下にバンテージを着用し、カッププロテクター（女子はローブローガード）と、赤および赤系統の色を含まないガムシールドを必ず使用する。

競技者のユニフォームはコーナーカラーの物を着用しなければならない（国民スポーツ大会ユニフォーム規定に則ったものを着用する）。

5. 審判員

リング内で競技を管理する1名のレフリーと、リングサイドで採点する5名のジャッジで行う。

6. ナショナルテクニカルオフィシャル（NTO）

日連主催やその他の競技会にはNTOをおく。NTOを務められるのは日連がNTOとして資格を認定した者で、競技会の管理運営を行う。協議会には全体の責任者であるTD、競技を管理するDTD、レフリージャッジの指導及び管理を行うR/J評価者、競技者の服装・用具を点検するエキップメントマネージャー、審判員のFOPへの入退場を管理するR/Jコーディネータをおく。

7. スコアリングシステム

日連主催の公認競技会ではスコアリングシステム（10ポイントマストシステム）を使用する。この採点方式では、ジャッジは各ラウンドの終了後、優勢な競技者に10点、劣勢な競技者に9点～7点の得点を与える。得点は必ず優劣をつけなければならない

《採点基準》

- ①ターゲットエリアへの質の高い打撃の数
- ②技術や戦術の優勢を伴って競技を支配していること
- ③積極性

8. 競技の判決

(1) WP…ポイント勝ち

- ①ラウンドごとの各ジャッジが与えた得点により勝者を決定する。競技の勝者はジャッジの多数決により決定する。
- ②故意でないファウルで負傷があり競技がストップした場合、それまでの得点で勝者を決定する。
- ③両競技者同時負傷で競技が続けられない場合、それまでの得点で勝者を決定する。
- ④1ラウンドの終了後以降にリングの損傷・照明の故障・自然災害・その他予期できない状況などで競技者またはレフリーの責任外で競技ができなくなった場合、それまでの得点で勝者を決定する。
- ⑤決勝戦で両競技者ともKOになった時はそれまでの得点で勝者を決定する。

(2) RSC…レフリーストップコンテスト※頭部への強い打撃による場合はRSC-Hとする。

- ①ラウンド開始のゴングで競技ができない場合。
- ②片方の競技者に決定的な差がついている場合や劣勢な競技者が過度な打撃を受けているとレフリーが判断した場合。
- ③ダウンの後、競技を続けられないと判断された場合。
- ④打撃を受けたことによりリング外まで叩き出され、カウント8の後に手助けなく30秒以内にリングに戻れない場合。
- ⑤リングドクターのアドバイスでDTDが競技の終了を宣告した場合。

(3) RSC-I…レフリーストップコンテストーインジャリー

- ①競技者が反則でない打撃により負傷して競技続行が不適切とレフリーが判断した場合。
- ②競技者が脱臼その他の自らの体が原因で競技を続けられない場合。

③ローブロー後の処置規定による90秒の休憩後に競技を再開できない場合。

(4) **ABD…アバンダン (棄権)**

- ①競技者が負傷等により自発的に棄権するか、セカンドがリング内にタオルを投げ入れるかエプロンに上がり棄権を申し出た場合。ただし、レフリーのカウント中は棄権することはできない。
- ②競技中にソフトコンタクトレンズを失い競技者が競技の続行を拒否した場合。

(5) **DSQ…ディスクォリフィケーション (失格)**

- ①競技者が反則やその他の理由で失格になった場合。
- ②意図的な反則により負傷して競技が続行できない場合。
- ③1競技で3回の警告を受けた場合。
- ④反則により、両競技者とも失格になる場合もある。
- ⑤故意で悪質な反則で失格となった競技者には、その競技会における賞状・メダル・ランキングポイント等を一切与えない。競技者がスポーツマンらしくない行動により失格となった場合、TD (DTD) は24時間以内に日本連盟資格審査委員会に報告しなければならない。

(6) **KO…ナックアウト**※頭部への強い打撃による場合はKO-Hとする。

- ①競技者がダウン後10秒以内に競技ができない場合。
- ②レフリーがダウンした競技者に異常を感じカウントを省略してリングドクターを呼び入れた場合。
- ③両競技者がナックアウトの場合は、両競技者がKO負けとなる。
※トーナメントの決勝戦で両競技者ともKOになったときはそれまでの得点で勝者を決定する。

(7) **WO…ウォークオーバー (不戦勝)**

- ①一方の競技者がリング内に登場して相手競技者がアナウンス後、リング内に現れない場合ゴングが鳴らされる。ゴングの後1分間が過ぎてもリングに登場しない場合。
- ②競技者が健診や計量で失格になった場合。
- ③DTDが事前に不戦が分かっている場合、競技者はリングに上がらず、不戦勝をアナウンスする。リング内での表彰がなければ不戦勝の競技者はリングに上がる必要はない。

(8) **特別な再試合**

1ラウンド終了前に、リングの損傷・照明の故障・自然災害・その他予期できない状況などで競技者またはレフリーの責任外で競技ができなくなった場合、レフリーは競技を中止できる。再競技は特別な場合を除いて原則当日中に行う。

9. 公認セカンド制度

この制度は、単にセカンド行為に限定せず、倫理的問題 (セクハラ、パワハラ等) や医学的、栄養学的、人格形成 (スポーツマンシップ、フェアプレイ、人格の尊重、感謝の心等)、科学的トレーニング理論、カテゴリーごとの適切な指導方法などの幅広い角度からボクシングの指導を行うための資質向上に大変重要な制度で、平成30年から完全施行された。

今大会に出場するチーフセカンドを行う者は、事前にオンラインで行うインテグリティ研修に必ず参加しなければならない。大会時にセカンド手帳を提出し、実績の証明を受けることとする。

等級	全国大会		ブロック大会		都道府県大会	
	チーフ	サブ	チーフ	サブ	チーフ	サブ
A級(20歳以上)		○		○		○
B級(18歳以上)	×	○		○		○
C級(15歳以上)	×	○	×	○		○

すべての競技会において、選手は上記表のとおり、セカンド資格を有する者がいなければ出場することができない。また、上記資格保有者膠得て、小学5年生以上の日連登録者はアシスタントセカンドとして、セカンドの補助 (椅子出し入れ・うがい補助・マウスガード洗浄等) をセカンドエリア内で行うことができる。但し、競技者の安全に関わる緊急の場合を除き、リング上及びリングエリアに立ち入ることはできない。